

ホームページアドレス
http://www.city.shirakawa.fukushima.jp/
☎=問い合わせ先
内=内線番号
◇本庁舎 八幡小路7-1 ☎21111/Fax272577
◇表郷庁舎 表郷金山字長者久保2 ☎32111/Fax322234
◇大信庁舎 大信増見字北田58 ☎462111/Fax462409
◇東庁舎 東釜子字殿田表50 ☎342111/Fax343584

募集

白河地方広域市町村圏整備組 合消防吏員採用試験

〔平成25年度採用〕
●職種・採用予定人員 消防業務に従事する消防吏員 9人程度
●資格 昭和58年4月2日から平成7年4月1日までに生まれた方(学歴・性別不問)
●試験方法 ▽第一次試験Ⅱ 教養試験・消防適性検査 ▽第二次試験Ⅱ 身体検査・体力検査・口述試験・作文

第3回白河まちなか逸品めぐりツアー

●日時 7月27日(金)／午前11時～午後2時
●定員 16人 ※先着順
●参加料 1,000円(昼食・軽食代込み)
●募集期限 7月24日(火)まで ※コースは当日発表します。
●申し込み・問い合わせ先 白河商工会議所 ☎23101

戸田橋花火大会観覧バスツアー

●日時 8月4日(土)／午後1時 大信庁舎発

●会場 埼玉県戸田市荒川
●参加料 ▽一般 3,500円 ▽高校生以下 2,000円(保護者の同伴が必要です)
●定員 白河市民80人
●申込期間 7月6日(金)～12日(木) ※現金を添えてお申し込みください。
●申し込み・問い合わせ先 大信庁舎総務課 ☎462111

案内

証明書のコンビニ交付開始

7月9日(月)から、住民票の写し、印鑑登録証明書、所得課税証明書、戸籍事項証明書が全国のセブン・イレブンで取得できます。
※取得には「住基カード」が必要ですが、詳しくはお問い合わせください。
●本庁舎市民課 内2158

認知症講演会

●日時 7月22日(日)／午後2時から ※入場無料
●会場 東文化センター(東釜子)

「り災証明」申請受付終了

東日本大震災で被災した家屋の「り災証明書」について、建物被害認定調査を伴う申請の受け付けは、7月31日(火)で終了します。
なお、再発行は今後も継続します。
●市災害対策本部(本庁舎生活環境課内) 内2166

Shirakawa Week 14days

●日時 7月30日(月)～8月12日(日)／午前10時～午後4時
●会場 マイタウン白河(本町)
●内容 大学生が市内の小学生から高校生を対象に、夏休みの課題を含む学習支援や進路相談を行います(交流イベントもあります)。
●Shirakawa Week実行委員会(しらかわ市民活動支援会内) ☎37595

市民プールオープン

●期間 7月21日(土)～8月26日(日) ※除染作業を進めていますが、オープン日を変更する場合があります。詳しくはお問い合わせください。
●時間 ①午前9時～11時 ②正午～午後2時 ③午後2時30分～4時30分
《総合運動公園市民プール》
●料金 ▽大人 100円 ▽高校生 50円 ▽小・中学生 20円
※幼児用プール・25mプールのみ使用できます。
●中央体育館 ☎28971
《表郷小学校プール》
●料金 ▽大人 100円

行政改革推進委員会委員募集

市では、行政改革の方向性や行政改革実施計画の進捗状況に関して広く市民の視点からご意見をいただくため、新たな行政改革推進委員会委員を次のとおり募集します(任期は2年です)。

●内容 行政改革の実施状況等について適宜報告を受け、これに対して市民の視点から必要な意見を述べる。

●応募資格 ①平成24年8月22日現在、市内に住所を有する方 ②平成24年3月31日時点で18歳に達して

いて、平成25年3月31日までに75歳に達しない方 ③行政改革に関心がある方 ④平日の昼間に開催する会議に出席できる方 ⑤市の各種審議会等の委員の兼職が3件未満である方

※国または地方公共団体の議員または公務員は除きます。

●募集人員 2人

●応募方法 次の書類を持参または郵送(当日消印有効)・FAX・Eメールで提出してください。

①応募申込書(指定様式) ②小論文のテーマ「行政改革に関する私の考え」(800字程度) ※応募申込書は、本庁舎総務課、総合案内および各庁舎総務課に準備してあるほか、市ホームページからもダウンロードできます。

●応募期限 7月31日(火)まで

●選考方法 選考委員会で決定します。結果は応募者全員にお知らせします。なお、応募書類等は返却しません。

●申し込み・問い合わせ先 本庁舎総務課 内2316/FAX272577/Eメール somu@city.shirakawa.fukushima.jp

▽中・高校生 50円

●表郷教育振興課 ☎4782

《大信総合運動公園プール》

●料金 ▽大人 100円

▽高校生 50円 ▽小・中学生 20円

●大信教育振興課 ☎463976

《東風の台運動公園ふれあいプール》

●料金 ▽中学生以上 100円

▽小学生 50円

●東教育振興課 ☎343146

ひきこもり講演会

●日時 7月25日(水)／午後1時30分から ※入場無料
●会場 県南保健福祉事務所(郭内)
●内容 ▽講演「わたがの会

の取組みとひきこもり支援」

▽講師 NPO法人わたがの会 秋田敦子理事長

●申し込み・問い合わせ先 県南保健福祉事務所 ☎25649

ひとり親家庭医療費更新申請書および児童扶養手当現況届

ひとり親家庭医療費および児童扶養手当を受給されている方は、毎年(1回)、ひとり親家庭医療費更新申請書および児童扶養手当現況届を提出する必要があります。提出がない場合、引き続き医療費の助成や手当てを受けることができませので、必ず提出してください。

受給されている方には、申

第2期福島県文化振興基金助成事業

県では、県民の文化活動支援を目的に8月1日から11月30日までにを行う次の事業を対象に、助成申請を受け付けています。

●対象事業 ①広く県民に公開する文化活動の成果発表事業(美術展、音楽会、演劇などの公演や文芸誌出版など) ②発表会や公的機関から招へいされて参加する事業など

●対象者 県内に住所または活動の本拠を有する個人(県外在住の県出身者も含む)または団体

●受付期限 7月25日(水)まで

●本庁舎生涯学習スポーツ課 内2384

県南都市計画下水道の変更に係る公聴会

- 日時 8月3日(金) / 午前10時から
会場 白河合同庁舎302会議室(昭和町)
公聴会に係る都市計画案の縦覧
日時 7月13日(金)~27日(金) / 午前8時30分~午後5時(平日のみ)
会場 本庁舎都市計画課、県南建設事務所企画調査課(白河合同庁舎)、県庁都市計画課(福島県庁)
公述の申し出 計画案にご

意見がある方は、公述人(公聴会に出席して意見を述べる人)として、7月27日(金)までに、住所・氏名、意見を述べようとする理由、意見の要旨を書面に記載し、公述の申し出を行ってください。
※公述人の資格は、県南都市計画区域内の住民に限ります。
本庁舎都市計画課 内2282 / 県南建設事務所企画調査課 ☎231617

「平和の鐘(かね・おと)を鳴らそう!」運動

- ユネスコは、戦争を二度と起こさないため、人の心の中に平和の響を築こうと活動しています。平和を祈り、平和について考える機会として、市内のお寺で鐘を鳴らします。
日時 7月19日(木) / 正午
「わたしたちの平和宣言」
①すべての命を大切にします
②どんな暴力も許しません
③思いやりの心を持ち、助け合います
④相手の立場に立って考えます
⑤かけがえのない地球環境を守ります
⑥みんなで力を合わせます

まちかど伝言板

東国原英夫氏講演会

- 白河ユネスコ協会(本庁舎生涯学習スポーツ課内) 内2382
(社)白河法人会青年部会20周年記念事業として、講演会を開催します。
日時 7月18日(水) / 午後6時開演
会場 ホテルサンルート白河(新白河駅前)
内容 ▽講演「ピンチをチャンスに〜福島もどげんかせんといかん〜」▽講師 東国原英夫氏(前宮崎県知事)
入場料 無料(入場には整理券が必要です。FAXでお申し込みください)。
申し込み・問い合わせ先 (社)白河法人会 ☎232160 / FAX 232163

安珍堂災害復旧に伴う寄附のお願い

安珍堂災害復旧建設委員会では、東日本大震災で全壊した安珍堂(萱根)を一日でも

早く再建するため、建設資金の寄附を募っています。趣旨にご賛同いただき、ご協力をお願いします(寄附金は指定の口座にお振り込みください)。
●寄附金の振込先 白河信用金庫本店 普通預金 1217502 / 東邦銀行白河支店 普通預金 1337763
●口座名義人 安珍堂災害復旧建設委員会 会長 土文字忠一
同委員会 ☎27331

白い風いきいきスポーツクラブ参加者募集

- フィットネスボディメイク
日時 7月11日・18日、8月8日・22日、9月5日・12日 水曜日 / 午後3時~5時
会場 中央体育館(北中川原)
対象 どなたでも参加可能
《スポーツキッズ育成教室》
日時・会場 フィットネスボディメイク教室と同じ
対象 幼稚園年長組~小学生2年生

《カラーリング体験教室》

- 日時 7月21日・28日、8月11日・18日、9月8日・22日
会場 中央体育館(北中川原)
対象 どなたでも参加可能
《スポーツキッズ育成教室》
日時・会場 フィットネスボディメイク教室と同じ
対象 幼稚園年長組~小学生2年生

日 土曜日 / 午前10時~正午
会場 国体記念体育館(北中川原)
●対象 どなたでも参加可能
●共通
●参加料 1回につき500円(会員は250円)
●申し込み・問い合わせ先 白い風いきいきスポーツクラブ事務局(中央体育館内) ☎276311

財立教志塾7月定例研修会

- 日時 7月26日(木) / 午後6時30分から
会場 市立図書館多目的ホール(道場小路)
内容 ▽講演「3・11以降の生き方」▽講師 玄侑宗久氏
入場料 無料(一般可)
(財立教志塾 ☎231427)

しらかわ福祉まつり

- 日時 7月29日(日) / 午前10時~午後2時
会場 すばく白河(北中川原)
内容 ダルライザーショー、消防はしご車、介護体験など
(社会福祉協議会 ☎231159)



『白河と会津の縁』 鈴木 和夫

今年、ロンドン五輪の年です。白河高校を卒業し、白河を拠点に活躍している新田祐大さんが自転車競技の代表となった。会津若松生まれで、自転車に憧れレベルの高い白河に移り住んだとのこと。ご自身もオリンピック選手だった名伯楽、班目秀雄さんの指導を受け、着々と力をつけてきた。師は言う。「彼はきらめく才能を持っているわけではない。しかし努力する天才だ」。目標に向かい、長く苦しい道を、強い意志を保ち続け歩むことは難しい。ウサギとカメの寓話どおり。歩みはのろくとも、たゆまずに確かな足跡を刻む者に女神は微笑む。実物の新田さんはきりっとした目のイケメンでした。ロンドンの大舞台でさわやかな一陣の風を吹かせてください。

戊辰の白河、最大の激戦地稲荷山。そのふもとに会津藩士の墓と慰霊碑がある。長いこと七・九番町の方々が墓守りをし、毎年6月第一日曜、無念の死をとげた士の霊を弔っている。大地震で被害を受けた碑も自分たちで修復した。立派なものです。東京の会津会や会津弔霊義会の代表に加え、今年には会津若松市長も参列された。会津での殉難祭にも代表者が参列し交流しているとのこと。白河と会津の縁は深い。道をはさみ向かい側には、遠い異郷に眠る長州・大垣藩士の墓があり、同じく霊をなぐさめている。今、二つの墓は恩讐を超

えるかのように静かにたたずんでいる。

来年のNHK大河ドラマは「八重の桜」。貞淑で家に仕えるのがあたり前とされたモラルを、軽々と超え烈しく生きた女性の生涯を描く。鶴ヶ城に立て籠もり、自ら銃を手に戦う。会津のジャンヌ・ダルク。敗戦の虚脱の中、場所を兄のいる京都に移し再出発する。空虚さを埋めるような新島襄との出会い。夫を助け、ときに尻に敷き、同志社大学の創立に心血を注ぐ。男尊女卑の風潮の中、徹底して平等を説き実践する。燃えたぎる炎は、日清・日露戦に自ら志願し看護婦として赴いたという。いやはや大した女性がいたものです。

戊辰の会津は西軍の最大の標的。「鶴ヶ城と白虎隊の悲劇」に象徴されるが、これでは全体像は見えない。軍事的に重要な戦いは越後長岡と奥州白河。会津は雌雄が決した後の籠城とゲリラ戦。長岡は、河井継之助という傑物を司馬遼太郎が「峠」に書き世に知られている。白河は東西両軍が対峙し、千人を超すほどの死傷者が出た戦闘にもかかわらず、歴史の底に埋もれてしまった。誠に残念です。この旨をプロデューサーに話したところ、同様の考えを示された。明治の幕を明ける白河での激突が放映されます。期待しましょう。
小峰城の西側に広がる会津町。白河も領地としていた会津の蒲生家が改易となり、多くの浪人が出た。棚倉から白河に移ってきた丹羽長重が、これらの家臣を召し抱えたこと。白河には、今でも会津にゆかりのある方が少なからず住み、「あいづ」の名で商いをしている店もある。

会津若松の中心から五つの街道がのびる。白河・二本松・越後・下野・米沢街道。白河街道は奥州街道を経て江戸につながる重要な道。今の国道294号がこれにあたる。湖南・長沼・天栄・大信を経て白河へ。街道の名残りは今もある。三菱ガス化学の工場用地造成が始まった一角に、石畳の跡がある。また飯土用・滑里川の間には往時の記憶をとどめる一里塚がある。上小屋には各戸に屋号がつき、宿場の面影を残している。会津武士は勇みこの道を白河に急ぎ、肩を落とし故郷へ戻った。会津の総督は西郷頼母。会津藩が火の粉を浴びる姿を見越してか、藩主・容保の京都守護職への就任に反対。藩内の冷たい目にさらされ、白河敗退の責任も追及された。辱し目をうけまいと夫人・娘ら一族は自刃。明治に入っても、朝敵会津の元家老に対する世間の風当たりは強い。棚倉都々古別神社や、日光東照宮の宮司として孤に耐えた。

5年余り前、稲荷山に頼母の「蝸牛の歌」の碑が建った。頼母の研究者で、白坂に工場のある中央精機の堀田節夫会長の情熱によるもの。己の境遇を顧みて、身を隠すことのできるカタツムリがうらやましいと、苦しい心のうちを歌う。
晩年白河を越える折二人はこう詠んだ。八重「老いぬれど 又も超えなん白河の関のとざしは よし難くとも」。頼母「旅にねし むかしの夢のあととへば うらみを知るや 白河の関」。万感の思いを込め会津へ向かった。
司馬遼太郎も名著「街道をゆく」シリーズで、白河・会津のみちを書いている。歴史的な縁を大事にし、共に競いあいながら誇れる郷土をつくっていききたいと思えます。